

日本睡眠歯科学会学術誌 (睡眠口腔医学：Journal of Oral and Sleep Medicine)

投稿規程

目的

本誌は睡眠歯科学および関連する生命科学，医学関連分野の論文等を掲載し，睡眠歯科学の進歩，発展をはかることを目的とする。

1. 投稿の資格，論文の条件

- 1) 筆頭著者および責任著者は，日本睡眠歯科学会会員に限る。共著者は，原則として日本睡眠歯科学会会員であることが望ましい。なお著者は論文に直接関与したものと定める。
- 2) 原稿は，他の雑誌に未発表のものに限る。また投稿中の論文も受理しない。
- 3) 2) の例外として二次出版論文については受理し，本投稿規程の別に定める。
- 4) 論文の内容は，睡眠歯科学および関連する生命科学，医学関連分野の総説，原著論文，症例報告，臨床統計，手術手技，調査研究，会員書簡などで，未発表のものに限る。
- 5) 著者人数は原則として，総説，原著論文，臨床統計，手術手技，調査研究は 10 名以内とし，症例報告，会員書簡は 6 名以内とする。

2. 患者のプライバシー保護ならびに研究倫理

- 1) 症例・臨床研究を含む医学論文における個人情報の取り扱いについては，「医学論文における患者プライバシー保護ならびに研究倫理に関する指針」に沿ったものとする。
 - 初診日や手術日当の日付については個人が特定できないと判断される場合でも年月までの記載にとどめること
 - 顔写真の掲載は目隠しを付す
- 2) 動物実験は，学術審議会による「大学等における動物実験の実施に関する基本的な考え方」に準如し，各施設内における動物実験委員会や審査委員会などの承認を得て，その旨を明記すること。
- 3) 臨床試験関連論文を投稿する場合は，試験開始前に大病院医療情報ネットワーク臨床試験登録システム (<http://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm>) 等の「臨床試験登録機関」に事前登録すること。
- 4) ランダム化比較試験論文の場合は，改訂版 CONSORT 声明 (Revised Recommendations for Improving the Quality of Reports of Parallel-Group Randomized Trials) に準じる (http://homepage3.nifty.com/cont/CONSORT_Statement/menu.html 参照)。

3. 利益相反について

利益相反がない場合は「著者全員利益相反なし。」と記載し，利益相反がある場合は，該当事項の詳細を記載する。なお，著者全員の「利益相反自己申告書」を投稿時に提出する。

4. 構成ならびに原稿の作成方法

- 1) 原著論文，症例報告，臨床統計，手術手技，調査研究，総説の全体構成は，①表紙，②英文抄録・和文抄録，③本文（緒言，対象・方法，結果，考察，結語，謝辞），④引用文献，⑤写真・図の説明文，⑥写真，⑦図，⑧表の順とする。会員書簡は抄録を含まず，①表紙，②本文，③引用文献，④写真・図の説明文，⑤写真，⑥図，⑦表の順とする。
- 2) 原稿は A4 判用紙 1 枚につき「1 行 26 文字×30 行」の横書きとする。原稿の長さは原則として，原著論文，臨床統計，手術手技，調査研究，総説および特別企画は刷上り 20 ページ（A4 判用紙約 40 枚）以内，症例報告は刷上り 5 ページ（A4 判用紙約 10 枚）以内，会員書簡は刷上り 1 ページ（A4 判用紙約 2 枚）以内とする。ただし，表紙，抄録，本文，引用文献，写真・図の説明文，写真，図，表を含む。なお，写真や図表は 2 枚で A4 判用紙 1 枚に換算し，組写真は写真 2 枚で A4 判用紙 1 枚に換算すること。
- 3) 原稿は下記の原稿作成要領を参考に作成すること。
- 4) 和文または英文のいずれかで記載し，本文が和文の場合は英文抄録も作成すること。

5. 原稿作成要領

本誌は，International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE：国際医学雑誌編集者会議) で定めた Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (生物医学雑誌への投稿のための統一規定) に準じて投稿規程を定めている (<http://www.ICMJE.org/> 参照)。

- 1) 全体の構成は，①表紙，②英文抄録・和文抄録，③本文（緒言，対象・方法，結果，考察，結語，謝辞），④引用文献，⑤写真・図の説明文，⑥写真，⑦図，⑧表の順とする。
- 2) 本文中の写真・図・表の記載は，文尾あるいは見出しの直後に括弧書きで入れること。また，写真・図・表の挿入箇所は，原稿の右側余白に朱色で『←写真 1, 2』のように明記すること。また図・表をカラーにする場合はさらに，その旨を朱色で追記すること (例『←図 1 カラー，図 2 白黒』)。

- 3) 原稿は漢字まじり平仮名、口語体、新仮名遣いを用い、「である」調で記す。原稿の下方中央に表紙から通し番号でページ数を記載する。
外国の人名、地名などはなるべく原語を用い、年号は西暦とする。

6. 表紙

冒頭は表紙とし、次の各項目を記載する。

- 1) 和文標題・著者名、英文標題・著者名、ランニングタイトル(30字以内)、和文所属機関名・所属機関の主任者名
- 2) 英文所属機関名・所属機関主任者名(所属機関名は必ず公式の名称を用いること。)なお、英文著者名、英文主任者名の表記は、姓(大文字)名(先頭のみ大文字)の順とする。
共著の場合、その所属機関が異なるときは、筆頭著者と所属を異にする共著者名の右肩および所属機関名の前に1), 2)を付ける。協力者などは本文末尾に謝辞として記す。なお、論文の著者は、①研究の構想とデザイン、あるいはデータの取得、解析と解釈②論文の執筆、あるいは内容の厳格な校閲、および③掲載される原稿の最終的承認の3項目すべてに実質的に寄与した者とする。
- 3) 別刷部数(朱書)、校正・別刷送付先、掲載料請求のための連絡先の順に記載する。

7. 英文抄録と和文抄録

- 1) 抄録は、2ページ目に添付すること。本文が英文の場合は400語以内の英文抄録(Abstract)を、本文が和文の場合は400語以内の英文抄録(Abstract)とそれに対応する和文抄録を添付すること。論文の概要が理解できるように抄録には目的、方法、結果、結論(英文の場合はObjectives, Methods, Results, Conclusions)等の順に、見出しをつけて記載すること。
- 2) 論文内容を表す用語を選択し英文抄録の末尾に、5語以内のキーワードを英語(日本語)の順に記載する。

8. 本文

本文の構成

- a) 原著論文、症例報告、臨床統計、手術手技、調査研究の場合は、本文に「緒言」「対象ならびに方法」「結果」「考察」「結語」「謝辞」(英文の場合はintroduction, methods, results, discussion, conclusion, acknowledgements等)の順序で見出しを付け、論文内容をできるだけ簡潔に記述する。それぞれの見出しは各章の冒頭、行間中央に記載する。
- b) 原著論文、症例報告、臨床統計、手術手技、調査研究のそれぞれの項目の内容は、おおよそ次のようなものとする。

①緒言

研究の目的、それを取り上げた動機およびその背景となるこれまでの研究との関連を記述する。

②材料ならびに方法

実験または観察に使用した材料および方法について記述する。とくに新しい方法についての考察があれば、理解しやすいように説明すること。材料、方法についての考察はここでは述べない。

③結果(または成績)

表、図、写真などを活用し、本文では実験または観察によって得られた結果の主要点を述べ、結果についての考察は行わない。

④考察

前章までに示されたものについての客観性を立証し、この研究で見出された事柄のもつ意義や意見を述べる。さらに、他の関連論文で示された結果との関係を比較考察して、その評価を行う。また、結果から結論が得られるまでの思考過程、論拠を述べる。

9. 引用文献について

- 1) 引用文献は論文に直接関係あるものとし、本文中に右肩番号をつけて引用し、本文末尾に引用順に記載する。
初出の引用文献が複数の場合は、文献の発行年代順に記載すること。
- 2) 引用文献が共著で3名以下の場合には連記し、4名以上の場合には最初の著者3名、他とする。外国文献もこれに準じる。また、外国文献の標題は文頭のみを大文字とし、固有名詞以外の各単語は小文字とする。
- 3) 雑誌略名は、本邦のものは医学中央雑誌刊行会編医学中央雑誌略名表(最新版)、外国のものはList of Journals Indexed in Index Medicusに準じること。外国雑誌の略名にはピリオドを付けないこと。
- 4) 歯科あるいは口腔外科に関連する国内学会誌の略名については、別表に示す略名を用いること。
- 5) 原則として学会発表抄録の引用は避けること。やむをえず引用する場合も、定期刊行物に抄録が掲載されているものに限り、標題の後に和文では(抄)、英文では(Abstract)と付記すること。

10. 引用文献の記載法

- 1) 引用文献は論文に直接関係のあるものにとどめ、和文、欧文の区別なく、引用順に並べて一連の番号を付け、本文中の該当箇所にも右肩にアラビア数字で片括弧を付けて示す。
- 2) 引用文献は原則として下記の要領に従って記載すること。
 - a) 雑誌の場合
番号) 著者名. 標題. 掲載誌名. 発行年; 巻(号): 最初の頁-最後の頁.
 - b) 単行本の場合

著者名：書名、版数、発行所名、発行所在都市名、引用頁（最初の頁－最後の頁）。

c) 翻訳書の場合

全体の編著者名；書名（監修者及び監訳者名）、版数、発行所、発行地、発行年（西暦）、引用頁（最初の頁－最後の頁）、原書名、原書の版数、発行所、発行地、発行年の順とする。

d) 著者名は、著者が3名以下のときは全員、4名以上のときは始めの3名までを明示し、あとは「他」と省略する。欧文の場合には、著者の姓、名前の頭文字の順に書き、共著者が3名の場合は、最後の著者名の間に接続詞（and）を入れる。この場合 & は用いない。4名以上の場合は3名の著者のあとに「et al.」と省略する。

e) 和文論文の標題は、原著者の用いた漢字と表記法に従う。

f) 略誌名不明なものは全て書き出すこと。とくに境界領域や他の専門分野の雑誌を引用する場合は、読者が容易にその雑誌を特定して原論文が閲覧できるよう、雑誌名表記には十分配慮する。

g) 叢書の場合は、書名の次に叢書名、巻数を括弧で区切って付記する。

h) 何らかの事情で原著を閲覧できない場合は、実際に引用した文献とともに書き、その旨を明記する。この場合、自分の文献表のなかにある論文から引用したときは、単に3) から引用、22) から引用、と記すだけでよい。

i) 本誌もしくは他誌に投稿済みであるが、まだ公刊されていない受理論文を引用する場合は、著者名、標題掲載予定誌名、その巻数および西暦年を記した後、必ず「掲載予定」と付記する。

j) 私信、特定会合で配布された資料など、公刊されて一般に閲覧できないものは文献に加ええない。

(記載例)

Kitamura T, Miyazaki S, Kadotani H, et al. Type I Chiari malformation presenting central sleep apnea. *Auris Nasus Larynx*. 2014; 41(2) : 222-4.

Railway Technical Research Institute. Railway safety database. Tokyo, Japan. (http://www.rtri.or.jp/railtechcenter/safty_admin.html) (accessed 2012.8.15)

American Academy of Sleep Medicine. International classification of sleep disorders, revised: Diagnostic and coding manual. Chicago, Illinois: American Academy of Sleep Medicine, 2001.

11. 本文

1) 本文はページを改めて書き起こし、漢字まじり平仮名、口語体、新仮名遣い、常用漢字、数字はアラビア数字を用いて明瞭に書く。和訳しにくい用語を除き、原則とし

て日本語で表記する。

2) 日本語のある学術用語は日本語で記載すること。学術用語については、日本歯科医学会学術用語集（日本歯科医学会編、医歯薬出版、2008年11月発刊）あるいは日本医学会医学用語辞典（日本医学会医学用語管理委員会編、南山堂、2007年4月発刊）に準ずること。また、身体各部を表わす用語は日本解剖学用語（日本解剖学会監修、解剖学用語委員会編、医学書院、2007年発刊）に準ずること。睡眠の専門用語については、睡眠障害国際分類第3版（ライフ・サイエンス、2018年7月発刊）また睡眠歯科の用語集（睡眠口腔医学、2018; 5(1) : 12-15）に準ずること。

3) 漢数字を含む名詞・形容詞・副詞などを除き、数字はアラビア数字を用いること。
(漢数字例) 一部分、二次う蝕、第三大白歯、十二指腸、十数回

年号表記は西暦とし、単位記号は原則として国際単位系(SI)を用い、数字は、アラビア(算用)数字、数量、温度などの単位記号は下記のとおりとする。なお、本文、図表、英文・和文抄録では数値と単位の間には必ず半角スペースを入れること(℃と%を除く)。

m, cm, mm, μm, nm, cm², L, mL, dL, kg, g, mg, μg, ng, mol, pmol, ℃, % など。

4) 動植物の名称は原則として片仮名書きにする。生物の学名(欧語)は二名式命名法によりイタリック体(またはアンダーラインを引く)で記し、たびたび使用する場合は再出以後属名を略字とし、例えば *Porphyromonas gingivalis* を *P. gingivalis* としても差し支えない。

5) 化合物名は日本化学会の定めた化合物名日本語表記の原則に準拠して一般名で記し、商品名では表記しない。

6) 略語、略号には国際的に慣用されているものを用いる。略号として通常使用されるラテン語は、必要な場合はピリオドを付け、イタリック体(またはアンダーラインを引く)とする(例: et al, i.e., *ilt vivo*)。

7) 本文中に文献を引用する場合は、著者の姓(名前不要)をあげその右肩に文献番号を付ける。著者名を明記する必要のない場合は、省略して番号だけでよい(記載例1)。

記載例1:

①睡眠¹⁵⁾も示すごとく……

②……とされているが^{2,4)}

③睡眠¹⁰⁻¹⁴⁾は……(文献が三つ以上連続する場合の表し方)

論文の中で、計測機器や薬品などの名称を記す場合は、その機器などの一般的名称を記し、続けて()内にその製品名や型式、製造者名、製造都市名を順に記すこと(記載例2)。

記載例2:

パーソナルコンピューター(dynabook TX, 東芝(株), 東京)

12. 表図

- 1) 写真・図は Microsoft 社の PowerPoint[®] で作成し、PDF 形式に変換する。表は同社の Excel[®] などで作成し、PDF 形式に変換する。余白に、写真（図・表）番号を記載すること。写真の解像度はカラーは 400dpi 以上、モノクロは 600dpi 以上とすること。
- 2) 表および図の本文挿入箇所は本文欄外に朱書きする。その配列に関してとくに希望のあるときは図示（朱書）する。
- 3) 表には、タイトルを表の上に記す。標題にはピリオドを付けない。表の説明文は原則的に不要であるが、表を見ただけで内容を理解できるようにする。しかし、表中に略字を用いた場合は表の脚注で説明を加えること。和文で記し、同一論文中統一する。
図には、タイトルを図の下に記す。標題にはピリオドを付けない。図の説明文は、文献の次に、ページを変えて記し、図と図の説明文によって内容を理解できるようにする。
- 4) 顔写真には「目隠し」を施して、その人物が特定できないよう配慮すること。
- 5) 図は、製版後は部分的な訂正（例えば、図中の数字や文字の訂正）ができず、改めて製版し直さなければならないので、原図作製時に十分注意されたい。筆者の不注意による図版再制作費はその実費を請求する。

13. 添え状（カバーレター）

- 1) 添え状の中に、本論文が未発表であることおよび他の学術誌に投稿・査読中でないことを明記すること。
- 2) 論文の一部（アブストラクトなど）が発表されている場合は、発表された場（学会名など）、時期などの詳細を記載すること。
- 3) 類似の論文を発表済み・投稿中・査読中である場合は、その旨を明記するとともに、その論文（原稿）を添付すること。

14. 論文中の図表の転載

- 1) 写真や図表の転載は著作権者（一次掲載論文編集者）の許諾書を添付する。
- 2) 文献を引用し、解説文中で転載を明確にする。

15. 校正ならびに掲載費用・別刷

- 1) 校正は原則として初校を著者校正とするが、文字の修正にとどめ、文章や内容の変更、追加、削除や表、図の改変、組み替え等の内容を変更してはならない。

なお、校正刷の返送が遅れ、編集業務に支障をきたし本誌の発行が遅延するおそれがあるときは、たとえ受理論文として印刷可能であっても編集委員会の判断で掲載を次号回しとすることがある。

- 2) 掲載費用は、掲載料・図版代とする。

- a) 掲載料は刷上り 3 頁までを一律 30,000 円とし、これを超えた分は、1 頁 8,400 円とする。図版代（写真・図・表）は実費とする。また、カラーの写真・図・表は実費を徴収する。
 - b) 依頼原稿の掲載料は全額学会負担とするが、カラーの図は実費を徴収する。
 - c) 著者の不注意による図版の再制作および組み替えは、その実費を請求する。
- 3) 別刷の希望部数、校正、別刷の送付先および掲載・別刷料等の請求先を「投稿票」に明記すること。別刷は 50 部以上とし、その費用は著者の負担とする。

16. 原稿の送付

- 1) 原稿は日本睡眠歯科学会のホームページより、電子投稿のみにて受け付ける。電子投稿では原稿本文（本文、写真・図、等）を PDF で提出するが、掲載決定の際には、本文、写真・図ともに原本（Word[®]、PowerPoint[®]、Excel[®] など）も提出することとする。
- 2) 電子投稿の際に、本誌所定の 1 投稿票、2 投稿前チェックリスト、3 利益相反自己申告書、4 「医学論文及び学会研究会発表」同意書（必要な場合）5 添え状（カバーレター）に必要事項を記入のうえ、pdf 化し原稿に添えること。なお原稿等の必要書類は、1 つのフォルダに入れ圧縮（zip 形式フォルダ）し投稿すること。
- 3) 図などはオリジナルのものを用いる。
- 4) 投稿に当たって原稿（表、図を含む）の控えを手元に保存しておくこと。

17. 審査の手順

- 1) 原稿の掲載は受付順とするが、採否および編集は編集委員会で行う。
- 2) 編集委員長のもとに原稿が到着した日付をもって受付日とし、著者に受付通知を送付する。投稿規程に当てはまらないものについては修正を求め、それが完了してから受け付ける。
- 3) 編集委員会で論文内容を審議し、その採否および掲載巻号を決定する。受理論文には受理証を発行し、掲載巻号を通知する。受理論文の掲載順序は委員会が決定する。

18. 著作権について

本誌に掲載された論文の著作権（著作財産権、copy right）は本学会に帰属する。

19. 二次出版（secondary publication）投稿規程

- 1) 日本睡眠歯科学会編集委員会は、二次出版論文として以下の規定を満たす論文の投稿を認める。
 - a) 著者は、日本睡眠歯科学会会員に限る。
 - b) 論文の内容は、一次出版物に掲載された論文内容ならびに写真・図・表の加筆・修正・変更は行わずそのま

- ま日本語表記とすること。
- c) 一次出版論文は国外の学術雑誌に掲載されたものに限る。国内の学術雑誌に掲載された外国語論文は認めない。
 - d) 一次出版側の編集責任者の許諾文書を添付すること。許諾文書は著者が取得するものとする。
 - e) 一次出版論文の別刷を添付すること。
 - f) 一次出版論文の著者全員の署名と捺印を記載した「二次出版論文投稿承諾書」を添付すること。
 - g) 二次出版論文の投稿は、一次出版物の発行後とする。
 - h) 論文の構成ならびに体裁は、本規程ならびに投稿規程に準ずること。

- 2) 冒頭は表紙とし、次の順序で各項目を記載する。

和文標題・著者名，英文標題・著者名，ランニングタイトル（30字以内），和文所属機関名・所属機関の主任者名，英文所属機関名・所属機関主任者名，二次出版であることを明記した脚注，の順に記載する。

【脚注記載例】

本論文は、「一次出版論文の掲載雑誌名巻，最初の頁－最後の頁，発行年.」に掲載された論文「標題」を二次出版したものである。

- 3) 校正ならびに掲載費用・別刷，原稿の送付，論文の採否ならびに著作権については投稿規程に準ずる。

(2021. 7. 31 改訂)